

2021年5月20日

各 位

会 社 名	株式会社エーアイ
代表者名	代表取締役社長 吉田 大介 (コード:4388 東証マザーズ)
問合せ先	執行役員総務グループ統括 小川 遼 (TEL. 03-6801-8402)

## <マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

- 開催状況
  - 開催日時 2021年5月20日(木) 15:30~16:30
  - 開催方法 WEBによる開催
  - 開催場所 株式会社エーアイ 本社 会議室  
(東京都文京区西片一丁目15番15号)
  - 説明会資料名 2021年3月期 決算補足説明資料

### 【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以 上

# 2021年3月期 決算補足説明資料

2021年5月20日

株式会社エーアイ

証券コード：4388

声を便利に、声を楽しく。



1. 企業概要
2. 2021年3月期 決算概要
3. 2022年3月期 事業方針

# 会社概要

会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役社長 吉田 大介
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西片一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	151,481,320円（資本準備金 121,280,000円）
市場	東京証券取引所マザーズ（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：44名 パート及び嘱託社員：15名
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2021年3月末日現在）

# 企業理念・行動指針

## 企業理念

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

## MISSION

声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

## VISION

音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

## VALUE

音声技術のトップランナーで居続ける

- 人が幸せになる技術・サービスを提供する
- お客様と社員と共に未来をつくっていく
- 日々、一步一步丁寧に歩いていく

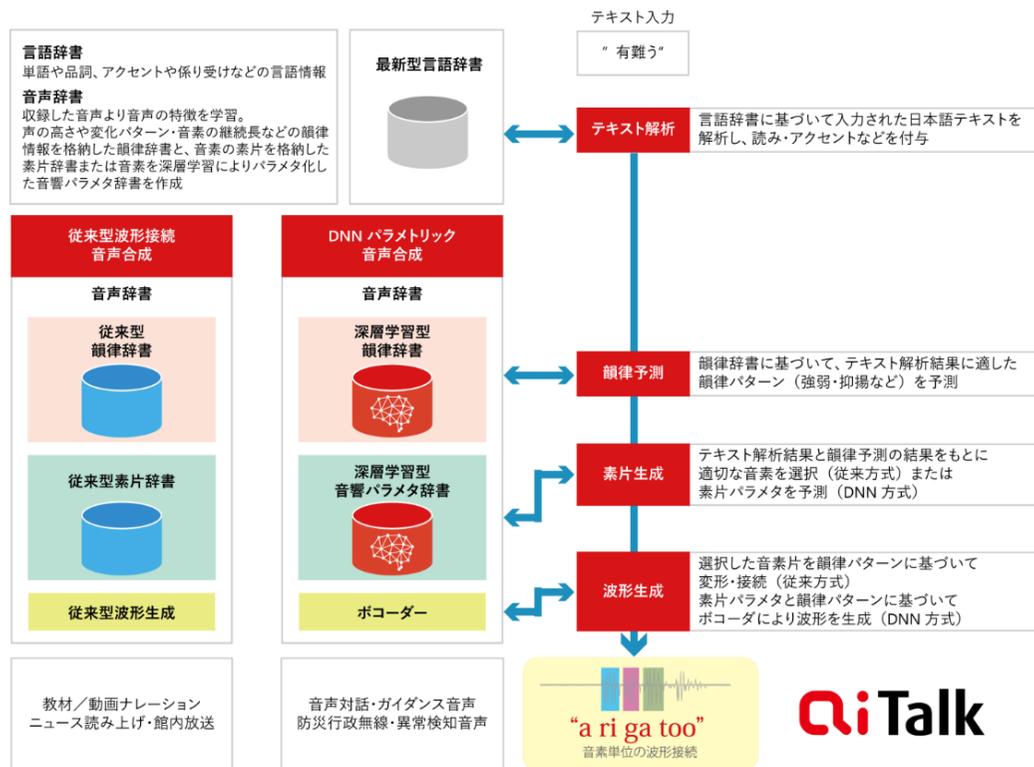
## 行動指針

- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客様も社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。

# AITalk®とは

機械的な合成音ではなく、人間の肉声に近い自然な音声を実現した高品質音声合成エンジンです。

音声合成エンジン「AITalk®5」は、従来の「コーパスベース音声合成方式」と、最新の深層学習技術を活用した「DNN音声合成方式」を、利用シーンに合わせて選択することで、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求めた高品質音声合成エンジンです。



# 選ばれる理由

## ①人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

## ②総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

## ③誰の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。文字を入力するだけで、本人の声のようリアルな音声で喋らせることができ、WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

# ビジネスモデル

区分		販売形態		製品・サービス
法人向け	法人向け製品 (売上の60~65%)	パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® 声の職人®</li> <li>・ AITalk® 声プラス®</li> <li>・ AITalk International®</li> </ul>
		ライセンス提供	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® SDK</li> <li>・ AITalk® Server</li> <li>・ micro AITalk®</li> </ul>
		受託開発	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® Custom Voice®</li> </ul>
	法人向けサービス (売上の20~30%)	クラウドサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AITalk® WebAPI</li> <li>・ AITalk® Web読み職人®</li> <li>・ AITalk® 声の職人® クラウド版</li> </ul>
		サポートサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術サポート</li> </ul>
コンシューマー向け製品 (売上の10~15%)		パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かんたん！AITalk®</li> <li>・ かんたん！アフレコ®</li> <li>・ AITalk® あなたの声®</li> <li>・ VOICEROID®シリーズ</li> <li>・ A.I.VOICE™ 琴葉 茜®・葵®／伊織 弓鶴®</li> </ul>

# 利用されている用途



音声対話



防災行政無線



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマホアプリ



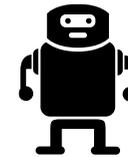
観光案内



施設案内



車内各種放送



ロボット



電話自動応答



WEBキャンペーン



WEBサービス



ゲーム



e-Learning教材



マニュアル



機器組込み



パッケージソフト組込み



ソフトOEM提供



自社サービス展開

# 導入・販売実績

導入実績数



1700 社

防災行政無線での  
導入自治体数



756  
市区町村

オリジナル音声辞書  
作成実績数



370 名

法人向け  
パッケージソフト  
累積販売数



1500  
ライセンス

コンシューマー向け  
パッケージソフト  
累積販売数



6万  
ライセンス以上

1. 企業概要
2. 2021年3月期 決算概要
3. 2022年3月期 事業方針

# 業績ハイライト

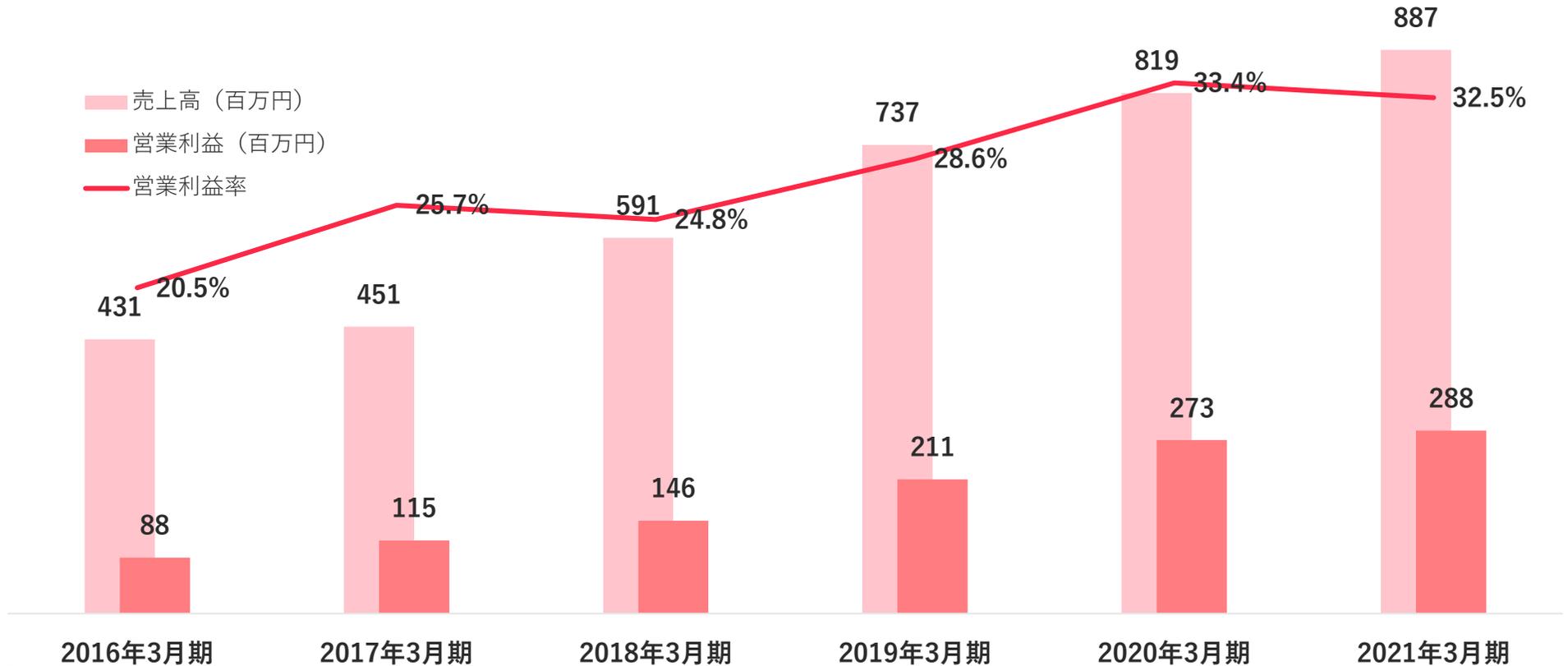
法人向けサービス（売上高前期比：△1.9%）は苦戦しましたが、法人向け製品（売上高前期比：+7.9%）、コンシューマー向け製品（売上高前期比：+37.2%）が伸長した結果、全体としては、売上、利益ともに計画値を上回り、増収増益を達成。

（百万円）

	2020年3月期	2021年3月期	前期増減率
売上高	819	887	+ 8.4%
営業利益	273	288	+ 5.3%
経常利益	273	288	+ 5.6%
当期純利益	172	215	+ 24.7%

# 売上高と営業利益の推移

売上、利益ともに順調に増加し、2021年3月期の営業利益率は32.5%



# 分類別売上

## 【法人向け製品】

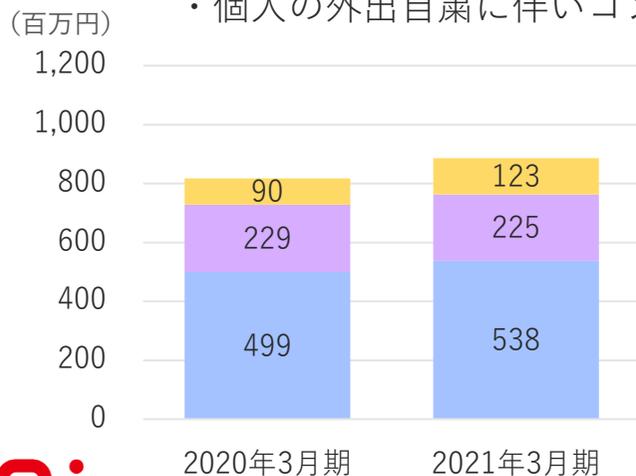
- ・企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途としてパッケージの売上が増加。
- ・Cerence社からのロイヤリティが増加。

## 【法人向けサービス】

- ・法人向けサービスは苦戦。

## 【コンシューマー向け製品】

- ・個人の外出自粛に伴いコンシューマー向け製品の需要が拡大。



	2020年3月期		2021年3月期		前期増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	499	61.0%	538	60.6%	+ 7.9%
法人向けサービス	229	28.0%	225	25.4%	△ 1.9%
コンシューマー向け製品	90	11.0%	123	14.0%	+ 37.2%
合計	819		887		+ 8.4%

# 損益計算書の概要

- 売上が順調に推移し、増収増益を達成。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、音声収録が伴うCustomVoice関連、東京オリンピック関連等の受託案件が減少したことにより、売上原価が減少。
- テレビCM放映、「A.I.VOICE™」リリース及び人員増に伴い販売管理費が増加。

(百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	819	100.0%	887	100.0%	+ 68	+ 8.4%
売上原価	153	18.7%	142	16.0%	△ 10	△ 7.2%
売上総利益	665	81.3%	745	84.0%	+ 79	+ 11.9%
販売管理費	392	47.9%	457	51.5%	+ 64	+ 16.5%
営業利益	273	33.4%	288	32.5%	+ 14	+ 5.3%
経常利益	273	33.4%	288	32.5%	+ 15	+ 5.6%
当期純利益	172	21.1%	215	24.2%	+ 42	+ 24.7%

# 貸借対照表の概要

○現金及び預金が136百万円、売掛金が18百万円増加したことにより、資産合計が162百万円の増加。

○未払法人税等が17百万円、未払金が5百万円減少したこと等により、負債合計が21百万円減少。

○当期純利益の計上等により利益剰余金が215百万円増加したものの、

配当金の支払いにより利益剰余金が35百万円減少したことにより、純資産合計が184百万円の増加。

(百万円)

(百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比 増減額
流動資産	1,137	1,300	+163
固定資産	51	51	± 0
有形固定資産	16	19	+ 3
無形固定資産	8	7	△ 1
投資その他の資産	26	24	△ 2
資産合計	1,189	1,352	+162

	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比 増減額
流動負債	138	116	△ 22
固定負債	2	3	± 0
負債合計	141	119	△ 21
純資産	1,047	1,232	+184
負債・純資産合計	1,189	1,352	+162

	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比
自己資本比率	88.1%	91.1%	+3.0pt
自己資本当期純利益率	16.0%	18.9%	+2.9pt
総資産経常利益率	22.8%	22.7%	△0.1pt

# 配当方針

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2021年3月期につきましては、1株当たり配当金8円50銭と決定いたしました。

	年間配当金					配当金 総額	配当 性向	純資産 配当率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計			
2021年 3月期	-	0円	-	8.50円	8.50円	42百万円	19.9%	3.8%

# E S G への取り組み

## (S: 社会)

### ①女性活躍の推進

- ・社員44名中、女性が22名 (50.0%)
- ・管理職12名中、女性が5名 (41.6%)

### ②子育て支援の推進

- ・育児休業制度の活用 3名 (内、2名は2020年6月に復帰)

### ③働き方改革の推進

- ・所定労働時間の短縮 8時間から7.5時間へ
- ・フレックスタイム制度の導入
- ・残業の少ない職場環境 月平均残業時間：10.07時間 (前期平均：10.96時間)
- ・休暇を取りやすい職場環境 平均有給消化率：74.4%
- ・在宅勤務制度の導入 新型コロナウイルス感染症対応として暫定スタートした在宅勤務を制度化。  
2020年10月より会社制度として運用開始。

## (G: ガバナンス)

### ①株主・投資家との対話

- ・機関投資家向け説明会の開催 2回
- ・証券会社主催のスマールミーティング 1回
- ・機関投資家との1on1ミーティング 46回

1. 企業概要
2. 2021年3月期 決算概要
3. 2022年3月期 事業方針

# マーケットの状況

第1フェーズ：片方向の情報提供



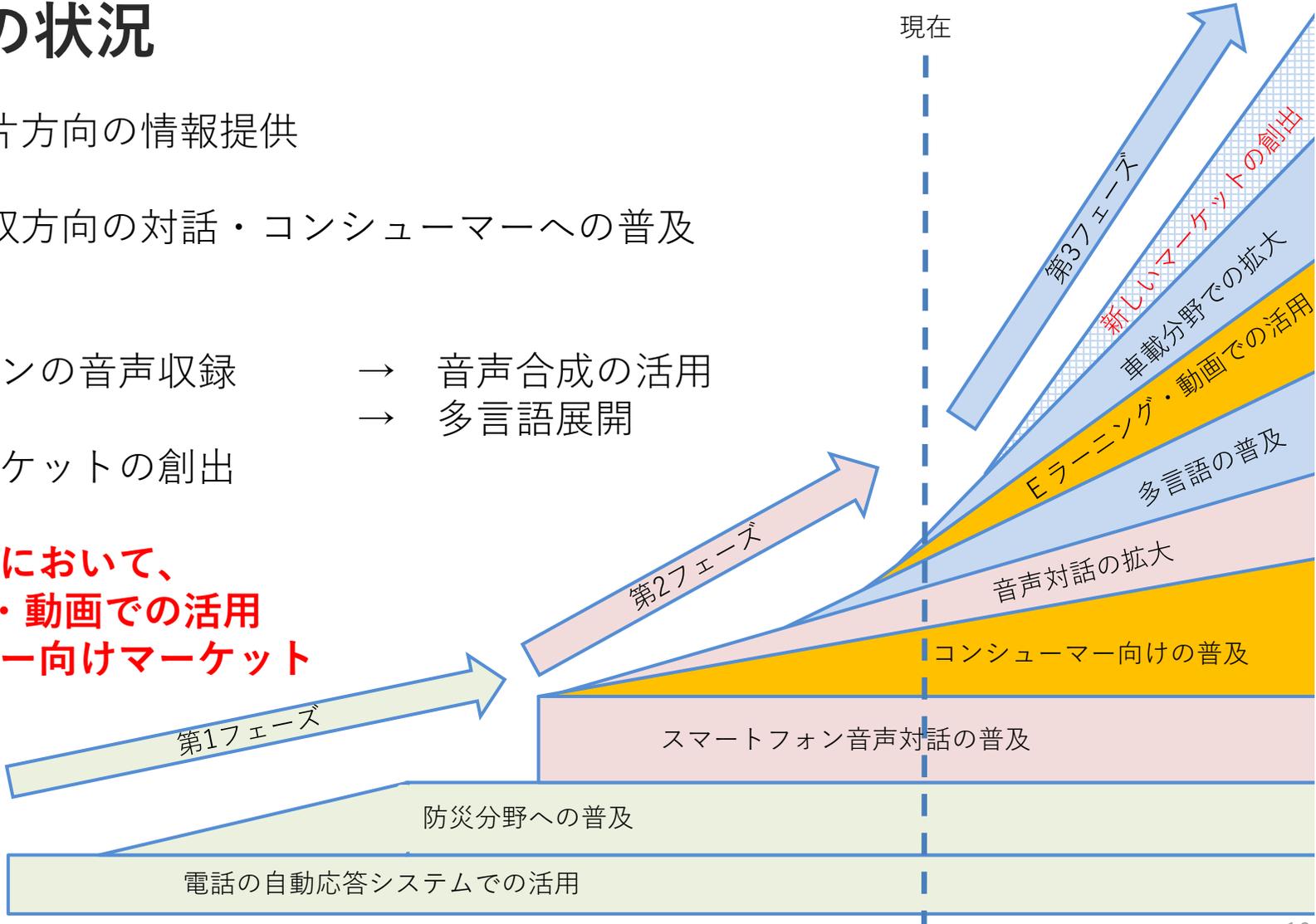
第2フェーズ：双方向の対話・コンシューマーへの普及



第3フェーズ：

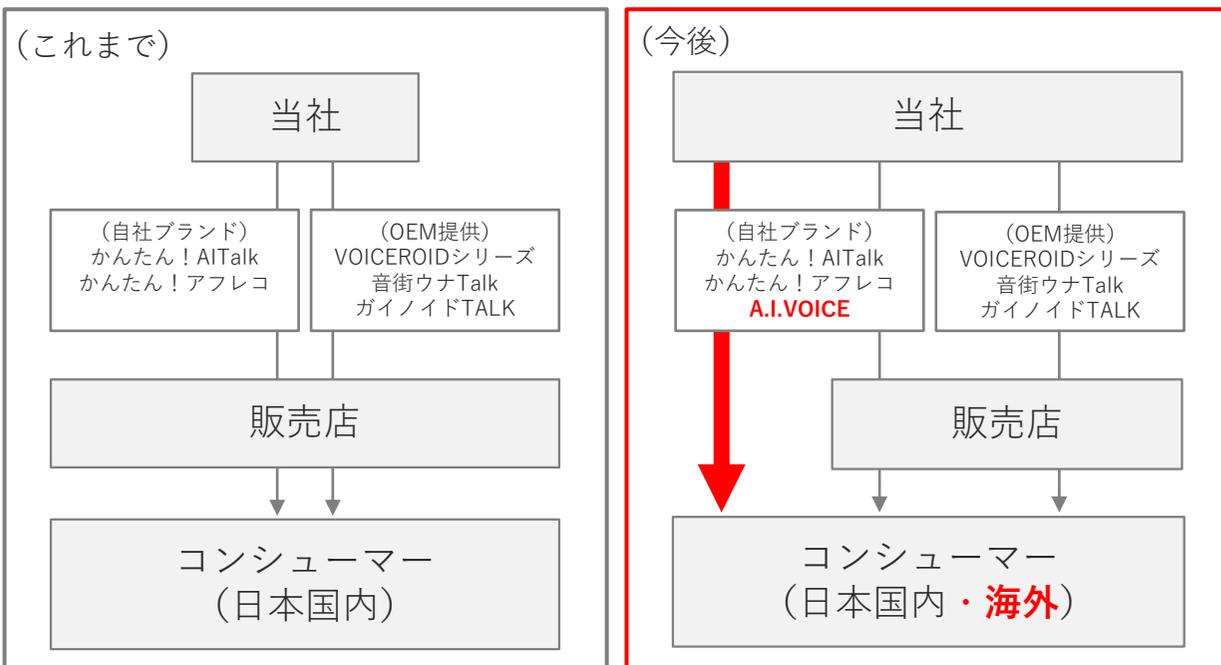
- ・ナレーションの音声収録 → 音声合成の活用
- ・日本語 → 多言語展開
- ・新しいマーケットの創出

**コロナ禍の状況において、  
・Eラーニング・動画での活用  
・コンシューマー向けマーケット  
が拡大。**



# 2022年3月期の主な取り組み

## ①オリジナルブランドによる個人利用向け音声読み上げソフト「A.I.VOICE™」の拡大



2020年3月期：売上の11.0%

2021年3月期：売上の14.0%



**今期の売上の20%を目指す。**

### 2021年2月販売開始

- ・日本語音声合成パッケージ

「A.I.VOICE™琴葉茜®・葵®／伊織弓鶴®」

### 2021年4月「A.I.VOICE™ Junior」募集開始

- ・サードパーティー向けプラン

### 2021年秋販売開始（予定）

- ・日本語音声合成パッケージ

「A.I.VOICE™結月ゆかり／継星あかり」

### 2021年12月 販売開始（予定）

- ・歌声合成パッケージ
- ・外国語（英・中）音声合成パッケージ

# 2022年3月期の主な取り組み

## ②次々世代エンジンの研究開発

### 名古屋大学 戸田教授との共同研究（2018年4月～2022年3月（予定））

（共同研究の概要）

- ・ WaveNet（音声波形を生成するためのディープニューラルネットワークの一つ）などの最先端の深層学習ベースの音声合成技術の研究開発を実施中。
- ・ 研究成果については、特許出願を行った後、順次学会発表、社外発表等を行い、**2021年4月以降、製品化を進めていく予定。**

### 名古屋工業大学 徳田・南角・橋本研究室との共同研究（2021年4月～2022年3月（予定））

（共同研究の概要）

- ・ スタイルタグによる制御可能な非タスク指向型対話音声合成に関する研究を実施中。
- ・ 目的に応じた制御性を考慮した、より人の発話に近い対話システムを実現するための音声合成の開発を行う。

# 2022年3月期の主な取り組み

## ③第20期（2023年3月期）へ向けて、更なる成長の土台作り

- ・ Cerence社との協業（車載分野）を加速
  - \* Cerence社：2019年10月、Nuance Communications社よりオートモーティブ部門がスピンオフ
- ・ 音声合成を活用した新しいマーケットの開拓
- ・ M&Aの活用
- ・ アカペラ社との協業：多言語音声合成製品の日本国内における販売権を獲得
  - \* アカペラ社：多言語音声合成エンジンの欧州最大手

# 2022年3月期 業績予想

○売上については、長引く新型コロナウイルス感染症による影響が懸念されるものの、音声合成市場の拡大やコンシューマー需要の拡大等により、引き続き、増収を見込む。

- ①パッケージ製品等、既存マーケットの拡大
- ②働き方改革の推進、テレワークの普及により、eラーニング分野での需要拡大
- ③コンシューマー分野の拡大

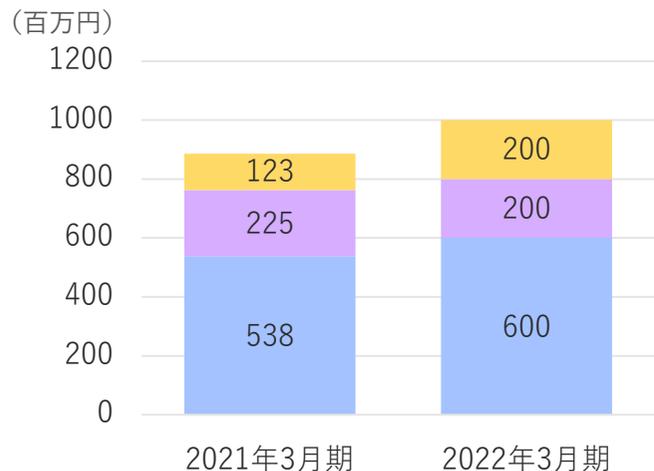
(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		増減額	
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期
売上高	360	<b>887</b>	370	<b>1,000</b>	-	-
営業利益	105	<b>288</b>	60	<b>320</b>	-	-
経常利益	105	<b>288</b>	58	<b>290</b>	-	-
純利益	77	<b>215</b>	43	<b>210</b>	-	-

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同期比増減率は記載しておりません

# 2022年3月期 分類別業績予想

- 法人向け製品については、前期同様テレワーク、オンライン学習の拡大等により、eラーニング教材・動画等での利用に関するパッケージ製品の需要増加を見込む。
- 法人向けサービスについては、安価な「AITalk® WebAPI」「AITalk® 声の職人 クラウド版」の需要増加を見込む一方で、NTTドコモ社の「my daiz」サービスの売上寄与の低下を見込む。
- コンシューマー向け製品については、A.I.VOICE™の新キャラクター版や英語版の開発、販売に注力し、売上増を見込む。



	2021年3月期		2022年3月期		前期増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	538	60.6%	600	60.0%	-
法人向けサービス	225	25.4%	200	20.0%	-
コンシューマー向け製品	123	14.0%	200	20.0%	-
合計	887		1,000		-

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同期比増減率は記載しておりません

# 配当予想

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。具体的には、配当性向20%程度を目処に、配当水準の向上に努めてまいります。

2022年3月期につきましては、1株当たり配当金8円50銭を予想しております。

	年間配当金					配当金 総額	配当 性向	純資産 配当率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計			
2022年 3月期	-	0円	-	8.50円	8.50円		20.4%	

# 将来見通しに関する注意事項

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。